令和６年度

教育に関する事務の点検・評価報告書

〔令和５年度事業対象〕

佐野市教育委員会

はじめに

平成１９年６月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され（平成２０年４月１日施行)、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することとなりました。

これを受けて、佐野市教育委員会では、効果的で効率的な教育行政の一層の推進を図るとともに、市民に対する説明責任を果たすことを目的に、学識経験者の知見をいただきながら事務報告書を基にした令和５年度実施事業の点検・評価を行い、報告書を作成いたしましたので公表します。

令和６年９月
佐野市教育委員会

（参考）「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（抜粋）

第２６条（一部省略）

教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

２　教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目　　次

１　点検・評価の対象及び方法 …… １

２　教育委員会事務局組織・機構図 …… ２

３　教育委員会活動 …… ３

４　教育振興基本計画に基づく成果指標達成状況と事業別考察

基本的方向１　特色ある教育と心の教育の推進 …… ５

施策１　確かな学力の育成に向けた教育の充実

施策２　豊かな心の育成に向けた教育の充実

施策３　健やかな体の育成に向けた教育の充実

施策４　グローバル化に対応する教育の充実

施策５　多様なニーズに対応した教育の推進

施策６　一貫性・連続性のある教育の推進

施策７　主体的に社会に関わる力の育成に向けた教育の推進

施策８　科学技術の基盤となる教育の推進

施策９　教職員の資質・能力の向上

基本的方向２　安全・安心で良好な教育環境の整備 …… １８

施策１０　市立学校の適正規模・適正配置の推進

施策１１　安全・安心で快適な学校施設の整備

施策１２　安全確保に向けた取組の推進

施策１３　教育の情報化の推進と情報セキュリティの確立

施策１４　学びのセーフティーネットの構築と充実

施策１５　教職員がいきいきと教育活動に取り組める環境づくり

基本的方向３　教育を支える地域づくりの推進 …… ２４

施策１６　「地域とともにある学校づくり」への体制整備の推進

施策１７　地域と連携・協働のための取組の推進

施策１８　家庭教育支援の推進

基本的方向４　生活を豊かにする生涯学習の推進 …… ２８

施策１９　生涯学習の情報や機会の提供

施策２０　生涯学習の成果を生かす取組の充実

施策２１　青少年の健全育成の推進

基本的方向５　スポーツへの参画の推進と次世代アスリートの育成　…… ３１
施策２２　生涯スポーツの基礎づくりの推進
施策２３　次世代アスリートの育成

基本的方向６　文化芸術活動の推進　…… ３１
施策２４　文化芸術活動の推進
施策２５　文化芸術活動団体との連携・支援
施策２６　文化芸術施設の環境整備の推進

基本的方向７　歴史・文化資源、豊かな自然の継承と活用　…… ３２
施策２７　歴史・文化資源の調査と適切な保存・継承
施策２８　歴史・文化資源や豊かな自然への理解の促進

５　全体を通しての意見　…… ３５

1　点検・評価の対象及び方法

（1）点検・評価の対象

点検・評価の対象は、教育委員会事務局各課が実施した全ての事務事業とした。

（2）点検・評価の方法

学識経験者の知見の活用を図るために、事務事業評価委員からの意見をいただいた。

令和５年度に佐野市教育委員会が実施した事務事業のうち数事業を評価委員が選択し、各課が考察した。

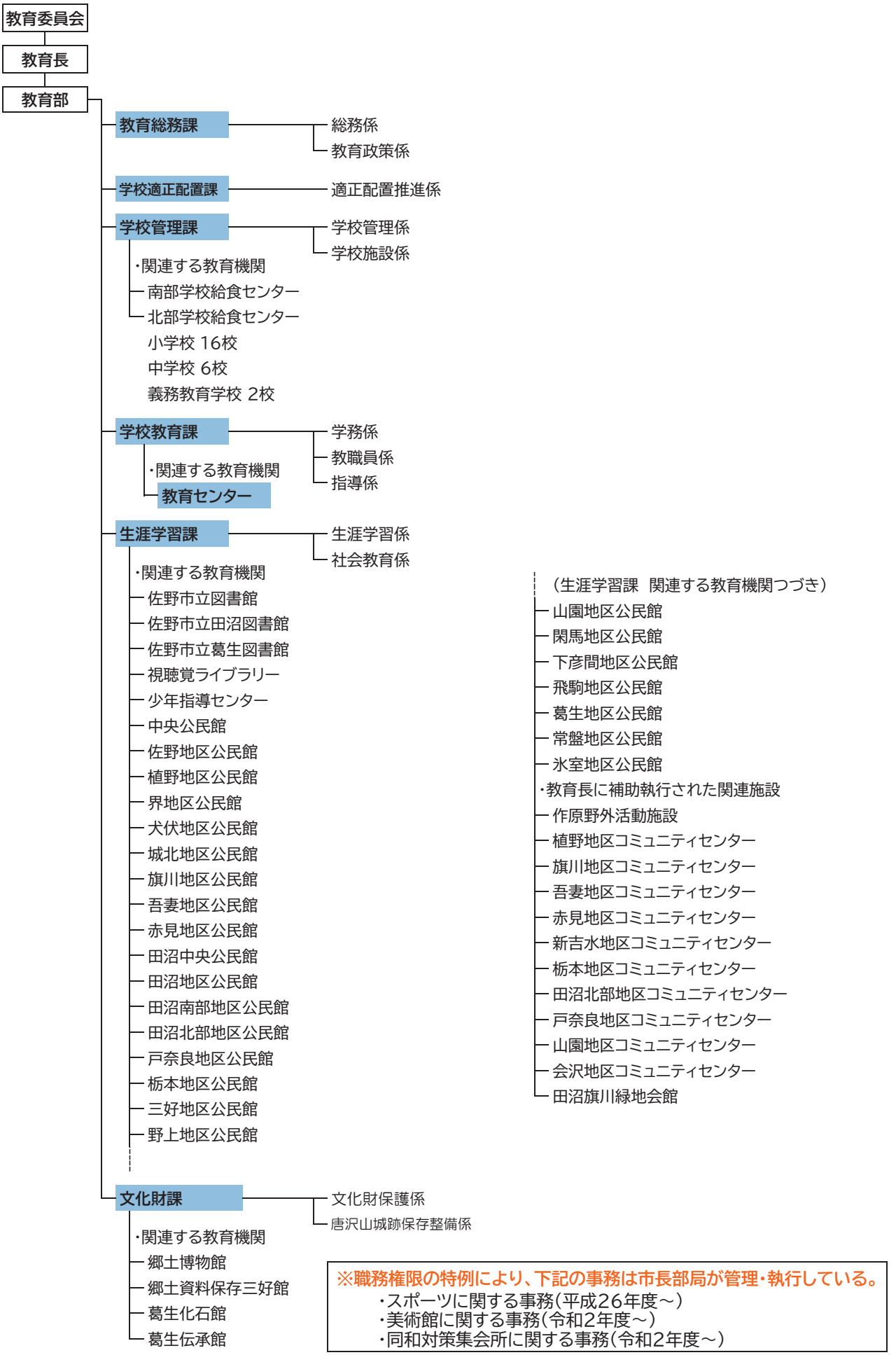
委員の方は次のとおりである。

（敬称略）

氏　名	経歴等
片柳　岳巳	元佐野市教育委員会委員
菅原　克己	元佐野市職員、元佐野市社会教育委員
川俣はるみ	元佐野市立旗川小学校教頭

2　教育委員会事務局組織・機構図

令和5年度 教育委員会事務局組織及び教育機関・補助執行された施設



※職務権限の特例により、下記の事務は市長部局が管理・執行している。
・スポーツに関する事務（平成26年度～）
・美術館に関する事務（令和2年度～）
・同和対策集会所に関する事務（令和2年度～）

3　教育委員会活動

1　組織

・教育長１名、教育委員４名

職　名	氏　名	初就任年月日
教育長	津布久　貞　夫	令和2年5月19日 （令和2年5月19日教育長就任）
委　員 （教育長職務代理者）	栗　﨑　卓　二	平成23年5月19日　※令和5年5月18日退任 （平成30年5月19日教育長職務代理者就任）
委　員 （教育長職務代理者）	内　田　圭　子	平成24年5月19日 （令和5年5月19日教育長職務代理者就任）
委　員	駒　形　忠　晴	平成28年4月1日
委　員	伊　藤　弘　教	令和2年11月1日
委　員	茂　木　郁　夫	令和5年5月19日

2　教育委員会の活動状況

（1）委員会の開催

定　例　会 臨時会の別	開催回数	付議事件件数	
		議　案	報　告
定　例　会	１２	４４	２９
臨　時　会	1	1	0

（2）研修会等

事業名	期　日	場　所	内　容
佐野市教育委員会委員 視察研修	令和６年 ２月１日（木）	アキシマエンシス （昭島市教育福祉総合センター）	閉校した学校を活用した複合施設の概要
栃木県市町村教育委員会 連合会研修会	令和５年 １１月８日（水）	栃木県庁研修館 ４階 講堂	部活動の地域移行について
安足地区市町村教育委員会 連合会教育委員研修会	令和６年 １月１５日（月）	栃木県石灰石工業会館	講話 「石灰と砕石と田中正造」 教育委員 駒形忠晴 氏
		佐野市立葛生義務教育学校	校内見学、学校概要説明

（3）その他

学校訪問

＼	訪問日	訪　問　校
1	令和5.7.14	天明小学校、赤見中学校、城東中学校
2	令和 5.11.2	佐野小学校、植野小学校、南中学校
3	令和 5.12.8	田沼東中学校、犬伏東小学校、界小学校
4	令和 6.1.26	あそ野学園義務教育学校

その他、二十歳のつどい、小中義務教育学校卒業式への出席

４　教育振興基本計画に基づく成果指標達成状況と事業別考察

計画の期間：令和４年度～令和７年度　　※令和７年度欄に記載の数値は目標値

基本的方向１　特色ある教育と心の教育の推進

施策１　確かな学力の育成に向けた教育の充実

【成果指標】

指標＼年度	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	主管課
全国学力・学習状況調査の全国平均との比較(全国学力・学習状況調査)	コロナ禍のため未実施 R1 −0.5	−1.2	−2.6	−1.1		0.8	学校教育課
「学校の授業時間以外に普段、１日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。」に対する 30 分以上の割合（全国学力・学習状況調査）	コロナ禍のため未実施 R1 53.9%	36.7%	32.7%	35.5%		80%	学校教育課

施策２　豊かな心の育成に向けた教育の充実

【成果指標】

指標＼年度	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	主管課
認知したいじめの解消率	66.7%	69.9%	69.6%	62.2%		100%	学校教育課
「道徳の授業では自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。」に対する「どちらかといえば当てはまる」以上の割合（全国学力・学習状況調査）	コロナ禍のため未実施 R1 87.7%	89.5%	86.7%	88.4%		95%	学校教育課
ＳＳＷの支援したケース数	100 ケース	83 ケース	85 ケース	72 ケース		100 ケース	教育センター

施策３　健やかな体の育成に向けた教育の充実

【成果指標】

年度／指標	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	主管課
新体力テストの平均得点の全国平均との比較	コロナ禍のため未実施 R1 -0.4	－0.7	－0.3	-0.3		1.9	学校教育課
「朝食を毎日食べている」に対する「あまりしていない」「全くしていない」割合（全国学力・学習状況調査）	コロナ禍のため未実施 R1 5.0%	7.2%	6.8%	7.9%		0%	学校教育課

施策４　グローバル化に対応する教育の充実

【成果指標】

年度／指標	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	主管課
英検３級程度以上の英語力を身に付けている生徒の割合	45%	41.3%	35.2%	41.0%		58%	学校教育課
「今までに受けた英語の授業では、英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができていた」に対する「どちらかといえば当てはまる」以上の割合（全国学力・学習状況調査）	コロナ禍のため未実施 R1 小６ 項目無し 中３ 72%	小６ 77.9%	設問なし	中３ 68.7%		100%	学校教育課

施策５　多様な教育的ニーズに対応した教育の推進

【成果指標】

年度／指標	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	主管課
市が特別支援教育に力を入れていると感じている市民の割合	40.2%	41.1%	43.8%	41.8%		45%	教育センター
アクティブ教室へ通級している児童生徒のうち在籍校に１回以上登校した児童生徒の割合	91.7%	81.3%	89.3%	95.7%		100%	教育センター
日本語指導が必要な児童生徒が日本語教室等で指導を受けている割合	72.3%	71.6%	82.3%	83.0%		80%	学校教育課

施策６　連続性・一貫性のある教育の推進

【成果指標】

年度／指標	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	主管課
教科の接続等について、中学校と連携している小学校の割合（全国学力・学習状況調査）	コロナ禍のため未実施 R1　76.9%	85.7%	66.6%	61.1%		97%	学校教育課
小中合同の授業研究などの合同研修を実施した学校の割合	65%	66.6%	41.4%	38.2%		70%	学校教育課

施策７　主体的に社会に関わる力の育成に向けた教育の推進

【成果指標】

年度／指標	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	主管課
「将来の夢や目標を持っている。」に対する「どちらかといえば当てはまる」以上の割合（全国学力・学習状況調査）	コロナ禍のため未実施 R1 79.3%	75.4%	75.6%	73.5%		86%	学校教育課
「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。」に対する「どちらかといえば当てはまる」以上の割合（全国学力・学習状況調査）	コロナ禍のため未実施 R1 56.4%	51.4%	47.4%	―	―	70%	学校教育課
（※R5 より設問変更）「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。」に対する「どちらかといえば当てはまる」以上の割合（全国学力・学習状況調査）	―	―	―	72.4%		85%	学校教育課

施策８　科学技術の基盤となる教育の推進

【成果指標】

年度／指標	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	主管課
「理科や算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えている。」に対する「どちらかといえば当てはまる」以上の割合（とちぎっ子学習状況調査）	コロナ禍のため未実施 R1 71.7%	67.5%	70.3%	68.9%		90%	学校教育課
情報教育アドバイザーの学校への訪問回数	387 回	454 回	417 回	403 回		300 回	教育センター

施策９　教職員の資質・能力の向上

【成果指標】

年度 指標	令和２ （2020）	令和３ （2021）	令和４ （2022）	令和５ （2023）	令和６ （2024）	令和７ （2025）	主管課
「授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間になどになっていた。」に対する「どちらかといえば当てはまる」以上の児童の割合（全国学力・学習状況調査）	コロナ禍のため未実施 R1 項目なし	86.0%	83.0%	84.0%		80%	学校教育課
授業に ICT を活用して指導することが「できる」「ややできる」と回答した教職員の割合	63.6%	71.8%	71.4%	75.6%		100%	教育センター

事業名　部活動地域移行推進事業　　教育総務課

基本的方向		1　特色ある教育と心の教育の推進
施策		3　健やかな体の育成に向けた教育の充実
総合計画政策体系	基本目標	豊かな心を育み、学び合うまちづくり
	政策	豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
	施策	特色ある教育と心の教育の推進
	基本事業	生きる力の育成
事業概要及び実施状況		○事業概要 　中学校の部活動指導を地域へ移行させていくため、地域クラブ活動指導員による指導を段階的に導入する。 　令和３年度から行っている国の委託事業を継続し、実践校での研究を行う。 実践校　田沼東中学校、あそ野学園義務教育学校 市内全中学校・義務教育学校の陸上競技部 運営団体　特定非営利活動法人たぬまアスレチッククラブ （総合型地域スポーツクラブ） ○実施状況 時　期　５月～１月 回　数　月２回程度（土日のいずれか）年間２０回 活動時間　３時間程度 活動種目　陸上競技、軟式野球、サッカー、バスケットボール（男女）、バレーボール（男女）、ソフトテニス（男女）、卓球（男女）、剣道、吹奏楽部 ※土日に活動している部活動全てを対象とする ・研修会の開催（5 月 11 日、5 月 21 日） 参加者：運営団体の代表、実践校の関係職員、地域クラブ活動指導者 内　容：事業説明、指導者と教職員の協議、救急救命講習 ・アンケート調査の実施（５月） ・リーフレット（部活動地域移行通信）の配布による情報提供 ・市ホームページでの事業紹介 ・スポーツ庁長官講演会の開催（6 月 21 日／佐野市文化会館大ホール） 部活動地域移行、地域のスポーツ活動振興に関する講演会
考察		・教職員の負担の軽減につながっている。（アンケート結果より） ・生徒は地域クラブ活動指導者の指導が専門的で分かりやすいと感じている。（アンケート結果より） ・保護者の費用負担については、今後協議していく。 ・令和６年度は葛生義務教育学校を加え３校で実施する。
委員からの意見		・佐野市なりに着実に進めていってほしい。

事業名　部活動地域移行推進協議会運営事業　　教育総務課

基本的方向		１　特色ある教育と心の教育の推進
施策		３　健やかな体の育成に向けた教育の充実
総合計画政策体系	基本目標	豊かな心を育み、学び合うまちづくり
	政策	豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
	施策	特色ある教育と心の教育の推進
	基本事業	生きる力の育成
事業概要及び実施状況		○事業概要 　中学校部活動指導を段階的に地域へ移行させていくため、部活動地域移行推進協議会を設置し、移行における諸課題を検討する。 ○実施状況 部活動地域移行推進協議会 ・委員構成（１５名） 　学識経験者（２名） 　　小山裕三 氏(佐野短期大学学長／元 日本大学スポーツ科学部教授) 　　木村政司 氏(佐野短期大学客員教授／元 日本大学芸術学部教授) 　保護者代表（５名)、スポーツ協会代表、たぬまアスレチッククラブ代表、レクリエーション協会代表、文化協会代表、中学校体育連盟会長、佐野市中学校文化連盟会長、小中校長会長、中学校長会長 ・会議の開催 　第１回 令和５年５月２５日（これまでの取組、本協議会の目的など） 　第２回 令和５年８月４日（部活動地域移行推進計画(案)への意見など） 　第３回 令和５年９月１４日（協議会からの提言(案)について） ・部活動地域移行推進コーディネーターの配置 　会計年度任用職員（週５日勤務） 　運営団体・学校・教育委員会の連絡調整 ・部活動地域移行推進計画《佐野モデル》の策定（令和６年３月） 　計画期間　令和６～７年度（２年間） 　基本目標　「学校と地域との連携・協働により、生徒が主体的に多様なスポーツ・文化芸術活動に親しむことができる環境を整備します。」
考察		・佐野市の部活動地域移行の方向性を定める「部活動地域移行推進計画《佐野モデル》」を策定することができた。 ・部活動地域移行推進コーディネーターを配置したことにより、学校や運営団体との連絡調整を円滑に進めることができた。
委員からの意見		・連絡調整のためのコーディネーターを配置することで、地域移行による教職員の業務負担を最小限にして進めてほしい。

事業名　小中一貫教育推進事業　　課名　学校教育課

<table>
<tr><td colspan="2">基本的方向</td><td>１　特色ある教育と心の教育の推進</td></tr>
<tr><td colspan="2">施策</td><td>６　一貫性・連続性のある教育の推進</td></tr>
<tr><td rowspan="4">総合計画政策体系</td><td>基本目標</td><td>豊かな心を育み、学び合うまちづくり</td></tr>
<tr><td>政策</td><td>豊かな心と確かな学力を育むまちづくり</td></tr>
<tr><td>施策</td><td>特色ある教育と心の教育の推進</td></tr>
<tr><td>基本事業</td><td>生きる力の育成</td></tr>
<tr><td colspan="2">事業概要及び
実施状況</td><td>〇事業概要
　中学校区を基本とする小中一貫教育推進ブロック及び義務教育学校における小中一貫教育の推進を支援する。学校教育指導員を配置し、小中一貫教育の推進及び学力向上のため、各学校を訪問し、指導助言を行う。

〇実施状況
１　各推進ブロック・義務教育学校での主な取組内容
<table>
<tr><td>城東
ブロック</td><td>中学生による小学校での読み聞かせボランティアなど児童生徒間の交流活動の再開をした。</td></tr>
<tr><td>西中
ブロック</td><td>ブロックの重点課題（人権教育の充実、ICTの効果的活用、体力の向上）を設定して、各校で実践した。</td></tr>
<tr><td>佐野南
ブロック</td><td>中学生による小学校での挨拶運動、小中合同の手話体験、写生会など小中学校合同行事を実施した。</td></tr>
<tr><td>佐野北
ブロック</td><td>管理職等による推進会議、確かな学力・豊かな心・健やかな体部会の開催と取組内容の確認と実践を行った。</td></tr>
<tr><td>赤見
ブロック</td><td>小中学校教員連携授業研究会、愛郷奉仕活動（出身小学校での中学生の奉仕活動）の実施などを行った。</td></tr>
<tr><td>田沼東
ブロック</td><td>オンラインによるいじめゼロサミットの開催し、小中学校の共通スローガンを設定した。</td></tr>
<tr><td>あそ野学園</td><td>きらりあそ野科（ふるさと、キャリア）、あそ野祭（５年以上）、ふるさとウォーク（7 年以下）等特色ある教育活を実施した。</td></tr>
<tr><td>葛生</td><td>運動会、文化祭、ふるさとウォークを全校生徒で実施した。</td></tr>
</table>
２　学校教育指導員の取組状況
（１）学校教育指導員による学校訪問
県教委指定の学力向上コーディネータ訪問校 7 校（佐野小、界小、城北小、吾妻小、出流原小、栃本小、多田小）以外の 17 校に 2 回ずつ訪問した。
ア　訪問方法　指導員単独による訪問、市教委指導主事と連携した訪問
イ　主な訪問内容
①研究授業の参観、分科会への参加、全体会での指導助言
②一般授業の参観、管理職や学習指導主任との懇談
③一般授業の参観、全体会での講話（評価の在り方、学力調査の結果分析や改善のポイント、学習指導の改善のポイント、学校研究課題に沿った授業づくり等）</td></tr>
<tr><td colspan="2">考察</td><td>・各推進ブロック・義務教育学校で９年間を見据えた系統性ある取組が工夫されている。各ブロック等の特色を生かして、今後も継続していきたい。
・訪問に併せて研究授業を行う学校が増え、指導員の訪問が授業改善の一助となっていることがうかがえる。今後も訪問指導を継続していく。</td></tr>
<tr><td colspan="2">委員からの意見</td><td>・学校間の調整は大変と思うが、子ども達にとっては良い経験になると思う。
・子ども達によるいじめ問題への取組は興味深い。みんなで子ども達の世界を考えてやりたい。</td></tr>
</table>

事業名　学校給食物価高騰対策事業　　課名　学校管理課

基本的方向		1　特色ある教育と心の教育の推進
施策		3　健やかな体の育成に向けた教育の充実
総合計画政策体系	基本目標	4　豊かな心を育み、学び合うまちづくり
	政策	1　豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
	施策	2　安全で安心して学べる教育環境の整備
	基本事業	1　安全で快適な学校施設の整備
事業概要及び実施状況		○事業概要 　原油価格や物価高騰の影響により学校給食の食材費の価格が上昇しており、その上昇分相当額を予算措置することで、保護者に負担増を求めることなく従来通りの品質の学校給食を提供する。 ○実施状況 　学校給食センター児童生徒給食費として予算計上している賄材料費に、食材の価格上昇分に相当する学校給食物価高騰対策事業の賄材料費を充てることで、従来と同品質の食材購入を行った。 コッペパン(主食)、しょうゆ（調味料)、人参やねぎ（野菜)、豚肉などの購入費として支出　　23,384,991 円
考察		・保護者に負担増を求めることなく従来通りの品質の学校給食を提供することができた
委員からの意見		・物価高騰への対応があったことに安心した。

事業名　子どもの郷土愛醸成事業　　課名　学校教育課

<table>
<tr><td colspan="2">基本的方向</td><td>１　特色ある教育と心の教育の推進</td></tr>
<tr><td colspan="2">施策</td><td>４　グローバル化に対する教育の充実</td></tr>
<tr><td rowspan="4">総合計画政策体系</td><td>基本目標</td><td>豊かな心を育み、学び合うまちづくり</td></tr>
<tr><td>政策</td><td>豊かな心と確かな学力を育むまちづくり</td></tr>
<tr><td>施策</td><td>特色ある教育と心の教育の推進</td></tr>
<tr><td>基本事業</td><td>生きる力の育成</td></tr>
<tr><td colspan="2">事業概要及び
実施状況</td><td>○事業概要
　市内小学５年生の子どもたちが、自ら地域の情報を調査、発表などを行うワークショップを実施し、まとめたものを子ども向け社会体験アプリ「ごっこランド」において「ジモトガイド－栃木県佐野市」を発信することで、市内の子どもたちに地域の魅力を再認識してもらうとともに、郷土愛の醸成を図る。

○実施状況　　「ジモトガイド-栃木県佐野市」作成
<table>
<tr><td>6 月</td><td>小学校・義務教育学校前期課程へ子ども記者選出を依頼
対象：小学校５年生　計 23 名の子ども記者を任命</td></tr>
<tr><td>7／26(水)</td><td>オンラインによるワークショップの開催
受託事業者（株）キッズスターからの事業内容の説明
次回までに各子ども記者が取り組んでくる内容の確認</td></tr>
<tr><td>7／27(木)～
8／21(月)</td><td>子ども記者による地域調査・情報収集・写真撮影</td></tr>
<tr><td>8／22(火)</td><td>編集会議によりジモトガイドの内容を確定</td></tr>
<tr><td>11 月</td><td>アプリ「ごっこランド」にてデジタルガイドブック「ジモトガイド－栃木県佐野市」を発信した。
デジタルガイドブックについて市ＨＰで周知した。
※「ごっこランド」は実在する企業やブランドの体験型コンテンツを通じて社会の仕組みを学べる知育アプリ</td></tr>
<tr><td>令和 6 年 3 月</td><td>冊子ミニガイドブック完成
→小学校・義務教育学校の新入生に配布</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td colspan="2">考察</td><td>・「ジモトガイド－栃木県佐野市」を発信することで、子どもたちが佐野市の魅力を再認識し、郷土愛を深めるよい機会となった。また、保護者や地域の方へも本取組を周知したことで、市の魅力を再確認する機会ともなった。
・同じ市内でもまだ知らない場所や物があることを知り、子どもたちの興味や探求心が増した。今後も継続していくことで、更なる佐野市の魅力を発見し、発信につなげることができると考える。</td></tr>
<tr><td colspan="2">委員からの意見</td><td>・子ども達の目線で書かれたガイドが面白い。学校の図書室や市立図書館などで多くの方に見てもらいたい。</td></tr>
</table>

事業名　日本語教室事業　　課名　学校教育課

基本的方向		1　特色ある教育と心の教育の推進
施策		4　グローバル化に対する教育の充実
総合計画政策体系	基本目標	豊かな心を育み、学び合うまちづくり
	政策	豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
	施策	特色ある教育と心の教育の推進
	基本事業	生きる力の育成
事業概要及び実施状況		○事業概要 佐野小学校内に日本語教室を設置、日本語教室指導員を任用して、佐野小学校籍の外国人児童及び市内小中学校に在籍する通級児童生徒、外国児童生徒教育拠点校の児童生徒への日本語指導、教科の補充指導、日本の生活習慣に関する指導等を行う。 ○実施状況 1　拠点校 4 校：植野小学校、天明小学校、犬伏東小学校、城東中学校 2　活動内容 （1）新入学児童保護者説明会　4 月 12 日（水）15：00～16：30 【会場】佐野市役所　【参加人数】15 名程度 （2）市外国人児童生徒教育連絡会議　5 月 16 日（火）15：00～16：30 【会場】佐野市教育センター3 階大会議室 2　【参加人数】33 名 【参加者】外国人児童生徒が在籍する小中学校の教員、外国人児童生徒教育拠点校の担当者、佐野市日本語教室指導員及び指導助手、外国人児童生徒教育に興味関心のある教員 【内容】〈全体会〉　各日本語教室の運営及び現状等について 〈講話〉演題「簡単、多言語、誰でも簡単に使える E-Tra ノート活用」 講師　宇都宮大学国際学部客員准教授　若林秀樹　先生 〈情報交換及び協議〉外国人児童生徒の学習や生活の様子等について （3）日本語教室進学ガイダンス　6 月 23 日（金）19：00～21：00 【会場】佐野市文化会館 201 会議室　【参加人数】20 名程度 【参加者】佐野市内の小・中・義務教育学校に在籍する外国人児童生徒およびその保護者、外国人保護者、市内の教職員等で外国人児童生徒教育に関心がある方 【内容】母国語別に進学についての説明（ポルトガル語、スペイン語、英語、中国語、タガログ語、やさしい日本語）、日本の教育制度について、各種高校等の説明（公立、私立、定時制、費用など）、進路決定までの流れについて、推薦(特色選抜)入試について、卒業生による進学体験談 （4）日本語教室合同校外学習　9 月 22 日（金） 【会場】カルピスみらいのミュージアム、向井千秋記念子ども科学館 【参加者】日本語教室通級児童生徒・日本語教室担当者 【参加人数】児童生徒 51 名

	（５）日本語教室担当者会議　参加人数…各回 11 名　5 回開催 【内容】１年間の予定を確認、行事の打合せと準備、次年度の予定を確認 【開催日】4 月 12 日（水）、5 月 16 日（火）、6 月 15 日（木）、9 月 14 日（木）、2 月 13 日（火）
考察	・本市の外国人児童生徒は、増加傾向にある。本事業の各行事が、外国人児童生徒への指導、保護者との連携、教員間の共通理解に関して効果を発揮している。 ・拠点校以外の外国人児童生徒の増加に伴う指導員不足、多国籍化に伴う対応せねばならない言語の増加が課題として挙げられる。
委員からの意見	・国内労働人口の減少から外国人労働者が増えると、その子ども達も増えるだろう。対応が難しいところもあるが、互いに異文化に触れる機会でもある。親子ともに本市に愛着をもっていただけるような取組、ＩＣＴ機器の活用などの工夫を続けてほしい。

事業名　アクティブ教室運営事業　　課名　教育センター

基本的方向		１　特色ある教育と心の教育の推進
施策		５　多様なニーズに対応した教育の推進
総合計画政策体系	基本目標	豊かな心を育み、学び合うまちづくり
	政策	豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
	施策	特色ある教育と心の教育の推進
	基本事業	生きる力の育成
事業概要及び実施状況		○事業概要 　不登校児童生徒が社会的自立の基礎となる力を身に付けることを目指し、個々に応じた指導・支援を行う「アクティブ教室」を運営する。 ○実施状況 　通級した児童生徒：２３名（小学校課程：９名、中学校課程：１４名） 　勤務する職員：吾妻小学校教諭１名（月・火１名、水～金１名） 　　アクティブ教室支援員２名 　支援員の勤務態様：１日６時間、年間２０２日の勤務。
考察		・見学、体験、入級については、学校と教育センター担当者及びスクールソーシャルワーカが連携しながら児童生徒や保護者のニーズを確認し、個に応じた支援に努めた。 ・今後も学校、学級担任等との連携を図りながら、児童生徒一人一人に寄り添いながら支援体制の充実に努めていきたい。 ・令和６年度より佐野市北部地域に新たな教室を開室し、名称も「みんなのまなびば　アクティブ」「みんなのまなびば　マイルーム」と変更した。２つのまなびばで連携しながら支援に当たっていきたい。 ・令和６年度からは事業名を「不登校児童生徒支援教室運営事業」とした。

委員からの意見	・学校に行けないということには様々な理由があると思う。その子にあった良い支援をできるだけ探してやってほしい。

事業名　不登校児童生徒支援教室開設事業　　課名　教育センター

基本的方向		１　特色ある教育と心の教育の推進
施策		２　豊かな心の育成に向けた教育の充実 ５　多様なニーズに対応した教育の推進
総合計画政策体系	基本目標	豊かな心を育み、学び合うまちづくり
	政策	豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
	施策	特色ある教育と心の教育の推進
	基本事業	生きる力の育成
事業概要及び実施状況		○事業概要 新たに、佐野市北部地域へ不登校児童生徒支援教室を開設するために、施設改修を行う。 ○実施状況 施設改修工事 ・建築改修工事：1,049,400 円 天井ジプトン・壁紙張替、階段床改修、網戸張替、 ポーチ庇屋根改修 ・空調機更新工事：1,298,000 円 １Ｆ事務室　２Ｆ職員室、学習室、相談室 ・電気設備改修工事：1,287,000 円 コンセント、ケーブル、インターフォン、 遠隔電磁ロック　等 ・ケーブルテレビ新規加入工事：29,700 円 ・ＮＴＴアナログ回線工事：22,000 円 ○その他 閉校になった学校から机･椅子･本棚等を移設し、活動できる環境を整えた。
考察		・不登校児童生徒が増加する中、不登校児童生徒支援教室までの保護者の送迎に係る負担軽減のため、佐野市北部地域（戸室町）へ新たな教室を開設し、支援体制の充実を図ることができた。 ・令和６年４月１日の開設に向けて、必要な改修工事を行い、支援及び児童生徒の活動のための環境整備を行い、受け入れ体制を整えることができた。
委員からの意見		・市内北部にも不登校支援教室が設置されたことで、対策が充実されたと感じる。送迎の負担軽減にも繋がっているということなので、引き続き状況に応じた取組を進めてほしい。

基本的方向２　安全・安心で良好な教育環境の整備

施策１０　市立学校の適正規模・適正配置の推進

【成果指標】

年度／指標	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	主管課
計画に対する設置された義務教育学校の割合	11.1%	11.1%	11.1%	22.2%		22.2%	学校適正配置課

施策１１　安全・安心で快適な学校施設の整備

【成果指標】

年度／指標	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	主管課
施設の瑕疵による事故件数	0 件	0 件	0 件	0 件		0 件	学校管理課
修繕依頼のあった学校施設の修繕が完了した割合	71.0%	82.0%	83.4%	85.0%		78%	学校管理課

施策１２　安全確保に向けた取組の推進

【成果指標】

年度／指標	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	主管課
交通安全に関する通学路危険箇所の改善率	69.2%	73.4%	75.6%	75.8%		80%	教育総務課
応急手当普及員全校配置達成率	93.1%	93.1%	93.1%	100%		100%	学校教育課
学校給食における事故件数 ※年間 200 日、1 日約 8,000 食の給食提供のうち	39 件	31 件	33 件	11 件		0 件	学校管理課

施策１３　教育の情報化の推進と情報セキュリティの確立

【成果指標】

年度／指標	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	主管課
「ICT 機器を、意見を交換したり、調べたりするために使用している」と答えた児童生徒の割合	22.0%	41.3%	設問なし	設問なし		100%	学校教育課

施策１４　学びのセーフティーネットの構築と充実

【成果指標】

年度／指標	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	主管課
進学に伴う経済的な不安が解消される。（市奨学金制度の利用率）	100%	100%	100%	100%		100%	教育総務課

施策１５　教職員がいきいきと教育活動に取り組める環境づくり

【成果指標】

年度／指標	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	主管課
ストレスチェック「健康リスク」の総合ポイント	79.2%	77.9%	82.5%	84.7%		75 以内	学校教育課
平均の退勤時刻	18:32	18:33	18:24	18:24		18:20	学校教育課
時間外在校等時間の平均	49 時間 25 分	49 時間 30 分	45 時間 29 分	43 時間 38 分		45 時間以内	学校教育課

事業名　佐野西中学校区小中一貫校整備事業　　担当課：学校適正配置課

基本的方向		2　安全・安心で良好な教育環境の整備
施策		11　安全・安心で快適な学校施設の整備
総合計画政策体系	基本目標	豊かな心を育み、学び合うまちづくり
	政策	豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
	施策	安全で安心して学べる教育環境の整備
	基本事業	市立学校の適正規模・適正配置の推進
事業概要及び実施状況		○事業概要 　小中学校における、複式学級の解消・回避、通学区域の見直し、及び学校施設老朽化の対策など、教育環境の整備を図るため、市立学校の適正規模・適正配置を推進する。 　佐野市小中学校適正配置・適正規模基本計画等に基づき、佐野市立西中学校区小中一貫校（施設一体型義務教育学校）の整備を進める。 ○実施状況 ・（令和５年度） （１） 佐野市立西中学校区小中一貫校整備事業者の選定に向けた事務 ① 事業者選定に必要となる「実施方針」及び「要求水準書」の作成 （事業方式：設計・施工・運営維持管理一括発注（ＤＢＯ）方式） ② 佐野市立西中学校区小中一貫校整備事業者選定評価委員会の設置 （学識経験者３名、市職員２名の構成による事業者選定の組織） ○業務委託 ・「事業者選定支援（アドバイザリー）業務委託」 ・委託先：ランドブレイン株式会社 ・契約期間：令和５年６月２９日～令和７年３月１９日 （２）開校準備委員会及び総務部会の設置（地域・保護者・学校関係者） ① 開校準備委員会（２回開催） 総務部会の校名案を受けて、協議・決定し、市教委へ提出した。 ② 総務部会（３回開催） 公募した校名案の中から、総務部会案を選定した。 ○令和６年６月市議会定例会で「学校設置条例の一部改正」の議案を上程し、新しい校名の議決を得る見通し。
考察		・民間活力導入の手法による整備事業者選定事務を進めた。 ・次年度における整備事業者選定の道筋ができた。 ・校名決定に向けた事務を円滑に進めることができた。
委員からの意見		・これからに続く取組を着実に進めてきているので良い。 ・集団の中で社会性や規範意識を身につけさせることは重要であるので、一定の規模の児童生徒集団及び教職員集団が確保されることが望ましい。 ・教育機会の平等の観点から、小中一貫校の早期整備を希望する。

事業名　小中学校トイレ洋式化事業（Ｒ４年度繰越）　　課名　学校管理課

基本的方向		２　安全・安心で良好な教育環境の整備
施策		11　安全・安心で快適な学校施設の整備
総合計画政策体系	基本目標	４　豊かな心を育み、学び合うまちづくり
	政策	１　豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
	施策	２　安全で安心して学べる教育環境の整備
	基本事業	１　安全で快適な学校施設の整備
事業概要及び実施状況		○事業概要 　学習の場、生活の場である学校を快適な環境とするために、トイレを洋式化する整備を行う。各学校の校舎、屋内運動場及び屋外トイレ等の洋式化率を令和５年度までに５０%以上にすることを目標に、洋式化率の低い学校から順に整備する。 ○実施状況 　小学校費　２２，７５９，０１５円 　・佐野小学校　校舎７基 　・植野小学校　校舎４基、屋内運動場３基 　・界小学校　　校舎９基 　・吾妻小学校　校舎７基（外便所含む） 　・赤見小学校　校舎５基、屋内運動場２基 　中学校費　　７，３８０，９８５円 　・赤見中学校　校舎８基、屋内運動場４基（外便所） ○令和５年度末トイレ洋式化率　　６１．３%
考察		・令和５年度末までにトイレ洋式化率５０%以上にするという当初の目標が達成できた。 ・学校のトイレを洋式トイレに改修することで、和式トイレに馴染みのない児童生徒が学校でのトイレ利用を我慢等することで健康を害することなく、安心して学べる教育環境が整備できた。
委員からの意見		・屋外トイレが和式であるために使用できない子もいる。目標は達成したが引き続き洋式化を進めてほしい。 ・今は家庭のトイレもウォシュレット付きが一般的と思う。すべてのトイレに設置するには大きく改修を要するので、教師用トイレに設置して必要な子が使えるような体制も検討してほしい。

事業名　小中学校校納金管理システム運用事業　　課名　学校管理課

<table>
<tr><td colspan="2">基本的方向</td><td>２　安全・安心で良好な教育環境の整備</td></tr>
<tr><td colspan="2">施策</td><td>15　教職員がいきいきと教育活動に取り組める環境づくり</td></tr>
<tr><td rowspan="4">総合計画政策体系</td><td>基本目標</td><td>４　豊かな心を育み、学び合うまちづくり</td></tr>
<tr><td>政策</td><td>１　豊かな心と確かな学力を育むまちづくり</td></tr>
<tr><td>施策</td><td>２　安全で安心して学べる教育環境の整備</td></tr>
<tr><td>基本事業</td><td>１　安全で快適な学校施設の整備</td></tr>
<tr><td colspan="2">事業概要及び
実施状況</td><td>〇事業概要
　校納金（教材費、校外学習に係る経費、ＰＴＡ会費など保護者が負担する経費）の管理、入出金を管理するシステムを導入し、併せてインターネットバンキングを利用することにより、事務職員の事務の効率化や負担の軽減を図る

〇実施状況
　校納金管理システムの運用に係る費用（システム使用料、ネットワーク回線利用料、サーバ設置リース料）及びインターネットバンキング月額利用料を市が負担する

インターネットバンキング月額利用料
<table>
<tr><td>金融機関名</td><td>月額利用料</td><td>利用数(小学校等)</td><td>利用数(中学校等)</td></tr>
<tr><td>足利銀行</td><td>5,500 円</td><td>１０校</td><td>６校</td></tr>
<tr><td>佐野農業協同組合</td><td>3,300 円</td><td>１０校</td><td>３校</td></tr>
<tr><td>佐野信用金庫</td><td>1,100 円</td><td>３校</td><td>２校</td></tr>
</table>
※一部の学校で複数の金融機関を利用

※インターネットバンキング月額利用料については「佐野市立学校インターネットバンキング月額利用料交付金交付要領」を制定し、学校長に交付している</td></tr>
<tr><td colspan="2">考察</td><td>・事務職員の事務の効率化や負担の軽減を図ることができた</td></tr>
<tr><td colspan="2">委員からの意見</td><td>・インターネットバンキングやシステムの活用を進めてほしい。</td></tr>
</table>

事業名　教職員の働き方改革　　課名　学校教育課

基本的方向		2　安全・安心で良好な教育環境の整備
施策		15　教職員がいきいきと教育活動に取り組める環境づくり
総合計画政策体系	基本目標	※総合計画政策体系外
	政策	
	施策	
	基本事業	
事業概要及び実施状況		○事業概要 教育部各課で連携し、学校における働き方改革を進め、教職員の負担感の削減を図る。 ○実施状況 ・学校閉庁日の継続実施　（学校教育課） 8月13日から16日の4日間、12月27日から28日の2日間、1月4日から5日までの2日間を学校閉庁日としている。 ・作品募集の精選（学校教育課） 依頼された作品（ポスター、作文、習字等で学校の審査を経て出品するもの）の応募基準を学校判断とした。（基本的に個人での応募） ・部活動の地域クラブ活動への段階的な移行　（教育総務課） 令和５年度までに田沼東中、あそ野学園で実施。 ・留守番電話の導入　（学校管理課） 令和５年度までに、市内全小中学校及び義務教育学校に導入。 ・教員業務支援員(SSS)の拡大配置　（学校管理課） 令和５年度に、小規模校にも配置され、全校配置とした。 ・出退勤時刻及び勤務時間外在校等時間の管理　（学校教育課） 定例校長会議において、平均出退勤時刻の周知。 勤務時間外在校等時間が連続して100時間を超える教職員への声かけ。 ・関係各方面への啓発　（学校教育課） 市役所各課に対し、学校への送付文書等を簡略化するように依頼。 市ＰＴＡ連合会に対し、教職員の働き方改革に関しての協力依頼。
考察		・留守番電話の導入やSSSの配置は、大きな効果を及ぼしている。 ・地域クラブ活動への移行やSSSの配置は、さらに拡大する必要がある。 ・国や県に対して、教職員の基礎定数の拡大及び加配定数の増員を継続して要望する必要がある。
委員からの意見		・一朝一夕にできることではないが、努力して改善する必要がある。 ・効率を考えて、必要でないものは削減する方向で検討してほしい。

基本的方向３　教育を支える地域づくりの推進

施策１６　「地域とともにある学校づくり」への体制整備の推進

【成果指標】

年度／指標	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	主管課
コミュニティ・スクール導入学校数	１校	１校	１校	２校		18 校	教育総務課
地域コーディネーター数	28 人	29 人	39 人	39 人		38 人	生涯学習課

施策１７　地域と連携・協働のための取組の推進

【成果指標】

年度／指標	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	主管課
学校支援ボランティア登録者数	778 人	899 人	908 人	1,118 人		1,000 人	生涯学習課

施策１８　家庭教育支援の推進

【成果指標】

年度／指標	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	主管課
家庭教育推進講座及び家庭教育出前講座参加者数	44 人	156 人	171 人	126 人		780 人	生涯学習課

事業名　地域学校協働活動推進事業　　担当課：生涯学習課

<table>
<tr><td colspan="2">基本的方向</td><td>３　教育を支える地域づくりの推進</td></tr>
<tr><td colspan="2">施策</td><td>17　地域と連携・協働のための取組の推進</td></tr>
<tr><td rowspan="4">総合計画政策体系</td><td>基本目標</td><td>豊かな心を育み、学び合うまちづくり</td></tr>
<tr><td>政策</td><td>地域とともに学び育てるまちづくり</td></tr>
<tr><td>施策</td><td>学校・家庭・地域連携による教育力の向上</td></tr>
<tr><td>基本事業</td><td>地域の教育力を活かす取組</td></tr>
<tr><td colspan="2">事業概要及び
実施状況</td><td>〇事業概要
　各地域において子供、保護者、教職員、地域住民が学び合い高め合える地域コミュニティーを創造するため、学校支援ボランティア活動の環境整備を推進するためにボランティア保険に加入した。また、地域コーディネーター等の資質向上のため研修会を開催した。

〇実施状況
学校支援ボランティア活動支援
　保険加入者　1,118 人　　延べ活動人数　43,106 人
ＰＴＡ交通補導箇所交通事故傷害保険
　加入者　２０１人　　補導箇所数　１８３箇所
地域コーディネーター養成研修　　参加者数　４２人
<table>
<tr><th>日時</th><th>学習テーマ</th><th>参加人数</th></tr>
<tr><td>６／３０(金)
９:３０～</td><td>講話・協議
「これからの学校と地域の連携の在り方について」
国立教育政策所　悴田　伸一　氏</td><td>１１人</td></tr>
<tr><td>８／８(火)
９:３０
～</td><td>事例発表・協議「コーディネーターの実際」
界小学校 地域コーディネーター　生沼　裕子 氏
〃　地域連携教員　鮎瀬　亮　氏
山前小学校 統括コーディネーター髙畑真朱美 氏</td><td>１０人</td></tr>
<tr><td>９／２２(金)
９:３０～</td><td>演習「地域学校協働活動の計画・立案」
宇都宮大学　石井大一朗　氏</td><td>１０人</td></tr>
<tr><td>１１／１７(金)
１４:００～</td><td>事例発表「学校を核とした地域づくりに向けて」
界小学校　地域連携教員　鮎瀬　亮　氏
〃　地域コーディネーター　生沼　裕子 氏
毛野南小学校　地域連携教員　飯田佐枝子　氏
ＤＳＰ代表　田沼　慎二　氏
ＤＳＰ　村山　哲也　氏</td><td>１１人</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td colspan="2">考察</td><td>・ボランティア保険加入者数が令和４年度に比べ、２１０人増加した。これは、コミュニティ・スクールの導入や学校での行事等も増えたためと考えられる。地域コーディネーター養成研修は、安足教育事務所との共催で実施した。参加人数は令和４年度とほぼ同じであるが、計画的に受講してもらえている。</td></tr>
<tr><td colspan="2">委員からの意見</td><td>・コミュニティ・スクールと対になる事業であり、地域の教育力向上に繋がる。役割を理解し活動を充実させていけるようなコーディネーターの量と質の確保をお願いしたい。</td></tr>
</table>

	・多忙化する学校を支援していけるように、コーディネーターやボランティアの皆さんの自主的な活動を推進するよう努めてほしい。

事業名　放課後子ども教室推進事業　　担当課：生涯学習課

基本的方向		３　教育を支える地域づくりの推進
施策		18　家庭教育支援の推進
総合計画政策体系	基本目標	豊かな心を育み、学び合うまちづくり
	政策	地域とともに学び育てるまちづくり
	施策	教育を支える地域づくりの推進
	基本事業	地域の教育力を活かす取組
事業概要及び実施状況		○事業概要 　地域住民の参画を得て、学校区ごとに放課後子ども教室実行委員会を設置し、放課後子ども教室の運営を委託した。 　放課後子ども教室を開催することにより、子どもの安全で安心な居場所を確保し、子どもたちに様々な体験・交流活動の機会を定期的、継続的に提供した。開催にあたり地域住民が関わることで、地域全体の教育力の向上を図り、地域の活性化や子どもが安心して暮らせる環境づくりを推進した。 　また、放課後子どもプラン運営委員会を開催し、市の放課後児童対策について協議し、放課後子ども教室と放課後児童クラブとの連携した運営の推進を図った。

○実施状況

名称	開設形態	実施回数	参加者数（1回平均）	実施場所	内容
いきいき何でも体験クラブ	イベント型	55回	469名（8名）	体育館 他	ミニバス、自由遊び 等
旗川小学校区放課後子ども教室	待機型	16回	342名（21名）	図書館、空き教室 他	読み聞かせ、クリケット等
石塚小学校区放課後子ども教室	待機型	60回	1,760名（29名）	校庭、空き教室 他	縄跳び、クリケット等
多田っ子広場子ども教室	待機型	23回	101名（4名）	空き教室他	読み聞かせ、自由遊び 等
出流原小学校区放課後子ども教室	待機型	20回	188名（9名）	空き教室他	工作、ベーゴマ 等
くずう放課後子ども教室	待機型	19回	504名（26名）	空き教室、図書室 他	読み聞かせ、クリケット 等
どんぐり子ども教室	日常型	13回	85名（6名）	葛生地区公民館	合唱

○国庫補助事業　国1/3、県1/3、市1/3

考察	・新・放課後子ども総合プランでは、放課後子ども教室と放課後児童クラブを一体的または連携して実施することが望ましいとされる。今後、計画的に実施していくために、放課後子どもプラン運営委員会での協議や、こども課と生涯学習課、放課後児童クラブと放課後子ども教室のスタッフ間の連携が図れるよう努めていく。 ・令和４年度まで葛生小学校、葛生南小学校でそれぞれ放課後子ども教室を開催していたが、令和５年度に葛生義務教育学校が開校後、くずう放課後子ども教室として開設することができた。今後も小中一貫校の開校が予定されているため、小中一貫校の開設に伴う放課後子ども教室開設の検討を進めていく。 ・地域の実情に応じた放課後子ども教室の形態を模索しながら、地域に根ざした「安全で安心な子どもの居場所」を目指した教室となるよう努めていく。
委員からの意見	・放課後子ども教室と放課後児童クラブは同じような内容ではあるが、実際の管理は異なるため一体的な活用はもとより連携も難しいところがあると思われる。放課後子ども教室はだれでも参加できる活動なので、これを活用した交流を検討してほしい。 ・放課後に子ども達が安全で安心に過ごせる居場所を確保するよう努めてほしい。

基本的方向４　生活を豊かにする生涯学習の推進

施策１９　生涯学習の情報や機会の提供

【成果指標】

年度／指標	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	主管課
生涯学習課ホームページへのアクセス数	42,330件	34,659件	32,647件	33,184件		81,000件	生涯学習課
生涯学習施設の利用者数	349,056人	457,382人	625,802人	743,438人		1,010,000人	生涯学習課

施策２０　生涯学習の成果を生かす取組の充実

【成果指標】

年度／指標	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	主管課
生涯学習ボランティア（楽習講師等）登録者数	339人	332人	273人	309人		450人	生涯学習課

施策２１　青少年の健全育成の推進

【成果指標】

年度／指標	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	主管課
体験的学習・研修会の参加人数	コロナ禍のため未実施	50人	87人	65人		165人	生涯学習課
学習活動実施団体が企画した事業の参加者数	42人	35人	47人	180人		800人	生涯学習課

事業名　生涯楽習フォーラム開催事業　　担当課：生涯学習課

基本的方向		４　生活を豊かにする生涯学習の推進
施策		20　生涯学習の成果を生かす取組の充実
総合計画政策体系	基本目標	豊かな心を育み、学び合うまちづくり
	政策	地域とともに学び育てるまちづくり
	施策	生活を豊かにする生涯学習の推進
	基本事業	学習成果を活かす取組
事業概要及び実施状況		○事業概要 　生涯学習社会の実現を目指し、市民が一堂に会して生涯学習のまちづくりや人づくりについて考え、市民の生涯学習活動へのきっかけづくりをするとともに、楽習成果の発表の場を提供するため、生涯楽習フォーラムを開催する。 ○実施状況　※参加者数：約２，０００人（延べ数） 　佐野市生涯楽習フォーラム２０２４「佐野楽」開催 　サブタイトル：～子どもから大人まで「見て･聞いて･話す」学びの場～ 　期　日：令和６年３月２日（土）、３日（日） 　会　場：佐野市文化会館 　主　催：フォーラム実行委員会、佐野市、佐野市教育委員会 　スケジュール： 　【基調講演・分科会】３月２日（土） 　10：00～12：00　開会式典 　基調講演及び市長との対談 　講師：安藤　勇寿　氏 　演題：佐野市民の皆さんと少年の日 　12：45～14：15　第１分科会　－ひと－ 　「居場所・・・多世代にわたって」 　14：30～16：00　第２分科会　－まち－ 　「まちの魅力発信」 　【楽習フェア】３月２日（土）、３日（日） 　楽習講師による体験、展示、ステージ発表 　【静のアート作品展】３月２日（土）、３日（日） 　書道、絵画、手芸、工芸等の作品展示
考察		・静のアート作品展をオンラインから会場展示に戻し、通常開催することができた。 ・講演会等を魅力的な内容にするとともに、周知の方法を工夫し、より多くの方の参加を目指す。
委員からの意見		・安藤勇寿さんの講演は大変興味深かった。かつては分科会、楽習フェアなどもあったが、コロナ禍もあり縮小傾向となっている。内容を検討し、充実してやってもらいたい。

事業名　街頭補導実施事業　　担当課：生涯学習課(少年指導センター)

基本的方向		4　生活を豊かにする生涯学習の推進
施策		21　青少年の健全育成の推進
総合計画政策体系	基本目標	地域の特色を活かした快適なまちづくり
	政策	安心して安全に暮らせるまちづくり
	施策	交通安全・防犯対策の推進
	基本事業	防犯意識の高揚と防犯体制の充実

事業概要及び実施状況

○事業概要

教育委員会より任命し、又は委嘱した少年補導員６５人が２２班を編成して午後、夕方、夜間の時間帯で市内の娯楽施設、盛り場、駅及び公園そのほか非行が行われやすい場所を巡回する。

○実施状況

従事回数３９９回・延べ参加人数５２８人、現場注意指導１６４人、声かけ５７２人の実績があった。

【現場注意指導等人数の内訳】

区分	指導		声かけ		合計	
	R5 年度	R4 年度	R5 年度	R4 年度	R5 年度	R4 年度
未就学児	0人	0人	１３人	６人	１３人	６人
小学生	１８人	２５人	１７７人	１１７人	１９５人	１４２人
中学生	８７人	９７人	１５６人	１６４人	２４３人	２６１人
高校生	５７人	８４人	２２６人	２２１人	２８３人	３０５人
その他	２人	４人	０人	２人	２人	６人
合計	１６４人	２１０人	５７２人	５１０人	７３６人	７２０人

考察

・巡回補導で声掛けすることにより青少年の非行の早期発見、未然防止を図っている。今後も補導回数や補導内容を検討しながら、青少年の健全育成に努めていきたい。

委員からの意見

・子どもの指導を通して、その時代の子ども達の生活や好むものを学ぶことに繋がり、大人にも勉強になる。大事なことなので今後も続けてほしい。

基本的方向５　スポーツへの参画の推進と次世代アスリートの育成

施策２２　生涯スポーツの基礎づくりの推進

【成果指標】

年度／指標	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	主管課
総合型地域スポーツクラブの会員数	2,778 人	1,047 人	1,204 人	1,236 人		2,950 人	スポーツ推進課

施策２３　次世代アスリートの育成

【成果指標】

年度／指標	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	主管課
関東、全国大会等に出場する個人と団体	12	35	294	310		130	スポーツ推進課
市スポーツ指導者登録制度への登録者数	－	－	97 人	111 人		60 人	スポーツ推進課

基本的方向６　文化芸術活動の推進

施策２４　文化芸術活動の推進

【成果指標】

年度／指標	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	主管課
学校訪問事業等実施数	2 校	7 校	15 校	22 校		21 校	文化推進課

施策２５　文化芸術活動団体との連携・支援

【成果指標】

年度／指標	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	主管課
市内の文化財、郷土芸能を知っている割合（天明鋳物）	69.4%	69.3%	72.5%	72.9%		77%	文化推進課

施策２６　文化芸術施設の環境整備の推進

【成果指標】

年度／指標	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	主管課
文化芸術施設利用者数	39,474 人	79,068 人	150,860 人	189,563 人		225,000 人	文化推進課

基本的方向７　歴史・文化資源、豊かな自然の継承と活用

施策２７　歴史・文化資源の調査と適切な保存・継承・活用

年度／指標	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	主管課
指定文化財の維持管理、保存修復対策件数	43 件	48 件	48 件	46 件		47 件	文化財課

施策２８　歴史・文化資源や豊かな自然への理解促進と人材育成

年度／指標	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	主管課
小・中・義務学校の学校利用、出前講座での児童生徒数	2037 人	3556 人	4086 人	3494 人		4250 人	文化財課

事業名　天明鋳物生産用具国指定推進事業　　**文化財課**

基本的方向		7　歴史・文化資源、豊かな自然の継承と活用
施策		28　歴史・文化資源や豊かな自然への理解促進と人材育成
総合計画政策体系	基本目標	新たな流れの創造による賑わうまちづくり
	政策	歴史・文化を守り育てるまちづくり
	施策	歴史・文化資源の保存と継承
	基本事業	歴史・文化資源の調査と適切な保存・継承
事業概要及び実施状況		○事業概要 ・令和４年度までに、天明鋳物生産用具の資料の記録化が概ね終了したため、文化庁調査官や栃木県の指導を得て、令和５年度の国指定化に向けた手続きを進める。 ・国指定化を目指す資料を適切に保管するために、暫定的な保管場所の協力が得られた栃木県立博物館に寄託する。 ○実施状況 ・５月～６月に国指定を目指す生産用具を県立博物館に運搬し、寄託した。 ・１０月に文化庁に資料を提出した。 ・１月１９日に、文化審議会から文部科学大臣に「佐野の天明鋳物生産用具及び製品」を重要有形民俗文化財に指定するようにとの答申が出た。 ・３月２１日に官報告示を経て国指定となった。
考察		・市内に「適切な保管場所」が確保ができないことが本件最大の課題だったが、県立博物館の協力を得て、暫定ではあるが適切に資料を保管できたことで、文化庁の指導を継続して受けられ、国指定に繋げられたと考えている。・
委員からの意見		・保管場所も含め、展示活用できるような施設を検討してほしい。 ・閉校になった学校の跡地利用など、いろいろな方向から検討してほしい。

事業名　郷土博物館指定管理事業　　**文化財課**

<table>
<tr><td colspan="2">基本的方向</td><td>7　歴史・文化資源、豊かな自然の継承と活用</td></tr>
<tr><td colspan="2">施策</td><td>27　歴史・文化資源の調査と適切な保存・継承・活用</td></tr>
<tr><td rowspan="4">総合計画政策体系</td><td>基本目標</td><td>新たな流れの創造による賑わうまちづくり</td></tr>
<tr><td>政策</td><td>歴史・文化を守り育てるまちづくり</td></tr>
<tr><td>施策</td><td>歴史・文化資源の保存と継承</td></tr>
<tr><td>基本事業</td><td>歴史・文化資源の理解の促進と地域づくりの推進</td></tr>
<tr><td colspan="2">事業概要及び
実施状況</td><td>〇事業概要
　郷土博物館において、運営の効率化、新視点での企画・展示及び柔軟で充実した職員配置を実現することにより、来館者の増加や魅力度の向上を図るため、令和５年度から指定管理制度を導入した。
　・指定管理者：（公財）佐野市民文化振興事業団
　・指定期間：令和５～７年度（３年間）
〇実施状況
①R5 来館者数　19,270 人（R4 は 14,370 人）
②博物館の運営体制　博物館専任の館長等３人のほか、２人兼任しバックアップしている。
③企画展（次の４展を開催）
<table>
<tr><th></th><th>テーマ</th><th>会期</th><th>入館者数</th></tr>
<tr><td>春</td><td>縄文時代のくらし</td><td>5/20～7/2（40 日間）</td><td>3,732 人</td></tr>
<tr><td>夏</td><td>埋もれた教育者森諤村撰文の石碑展</td><td>7/22～8/27（32 日間）</td><td>1,766 人</td></tr>
<tr><td>秋</td><td>未公開文書からたどる田中正造</td><td>10/7～12/10（55 日間）</td><td>3,555 人</td></tr>
<tr><td>冬</td><td>くらしのうつりかわり
～古い道具と昔のくらし～</td><td>1/4～3/3（52 日間）</td><td>5,255 人</td></tr>
</table>
④記念講演会（秋の企画展開催期間中に開催）
「田中正造と黒沢酉蔵」　講師　坂原辰男氏（元田中正造大学事務局長）
開催日：11/3　会場：総合福祉センター2 階会議室　参加者数：78 名
⑤各種講座（次の講座を開催）
古文書入門・民話・勾玉作り・エラスムス像・立体切り折り紙・
てん刻作り・火起こし体験
⑥学校利用（市内全小学校・義務教育学校の３・４・６年生を対象に実施）
・３年生対象「くらしのうつりかわり」【参加数 841 人（33 クラス）】
・４年生対象「郷土につくした人々」　【参加数 858 人（32 クラス）】
・６年生対象「歴史学習」　【参加数 927 人（34 クラス）】</td></tr>
<tr><td colspan="2">考察</td><td>・指定管理後の郷土博物館の運営は、来館者に丁寧な対応を心掛け、企画展・常設展示、各種講座、学校利用等においても、わかり易く興味を持ってもらえるような内容となっており、指定管理制度導入の成果が現れている。</td></tr>
<tr><td colspan="2">委員からの意見</td><td>・本物に触れられる機会は貴重なので、学校利用を進めてほしい。</td></tr>
</table>

５　全体を通しての意見

（１）令和５年度点検・評価における委員意見から

委員意見	各課の対応
【地域部活動推進事業】 ・部活動にやりがいを感じている教員もいると思うので、働き方改革を重視しつつ兼職兼業として指導が続けられる仕組みづくりも検討してほしい。	国のガイドライン、とちぎ部活動移行プランに基づき本市における兼職兼業の基準を定め、令和５年度の校長会議でお知らせしました。今後も継続して周知してまいります。　（教育総務課）
【奨学金返済助成事業】 ・最近は奨学金も支給型が主流になってきていると思う。予算面で難しいということも承知しているが、検討してほしい。	給付型奨学金については、財源や給付条件、選考方法等の課題がありますので、他市の事例を参考に研究してまいります。　（教育総務課）
【キャリア教育推進事業】 ・卒業生や先輩で夢を叶えた方の話は子ども達にとっても身近に感じやすいので、ぜひ聞かせる機会を作ってほしい。	南中学校では、キャリア教育として卒業生（高校・大学・社会人）を招き、中学時代の様子や進路を決めた理由などについて話をしてもらい、進路選択の一助とする取組を実施しています。他校でも卒業生や先輩を招いて、キャリア教育を推進している例もあり、講師選出の視点として紹介していきたいと考えています。　（学校教育課）
【小・中学校ＩＣＴ環境維持管理事業】 ・端末の修理中も使えないことがないように予備機等で対応してほしい。	令和５年度も、端末の修理の際には予備機を貸与することで、児童生徒の学びに支障のないよう対応しました。令和６年度以降も同様に対応いたします。　（教育センター）
【家庭教育推進講座開催事業】 ・オンライン開催も便利で良い。有効な手段で実施していってほしい。	令和５年度は参加者同士のグループワークを実施するため集合形式の講座としましたが、オンラインでの申込受付も行い、気軽に参加ができるようにしました。令和６年度についても講座内容だけでなく開催形式等もあわせて検討し、実施してまいります。　（生涯学習課）
【放課後子ども教室推進事業】 ・こどもクラブ（学童保育）とは類似する事業ではあるが管轄が違うから一体化は難しいと思う。連携して進められるよう検討してほしい。	放課後児童クラブと放課後子ども教室の運営について、こども課と情報共有しながら、連携を図ってまいります。　（生涯学習課）
【楽習出前講座開催事業】 ・世の中の変化・ニーズに合った講座やメニューの充実など、引き続き検討してほしい。	学習のニーズを把握するため、実施報告書の様式を変更し「今後受講したい分野・講座」の記入欄を新たに設けました。今後も継続し、メニューの充実を図ってまいります。　（生涯学習課）

【天命鋳物伝承保存会記録化活動支援事業】 ・今後、保存場所や活用方法を検討し、市民をはじめ多くの方に見てもらえるような展示も行ってほしい。	Ｒ５は「天明鋳物生産用具国指定推進事業」として業務を進め、３月に「佐野の天明鋳物生産用具及び製品（員数 1,556 点）」が重文指定されました。Ｒ６は、郷土博物館の夏の企画展で、重文となった製品等の一部を展示しお披露目する準備を進めているところです。　（文化財課）
【佐野市遺跡地図作成事業】 ・勉強になると思うので一般の人にも閲覧できるようにしてほしい。	Ｒ４～５で旧田沼町域の現地踏査・確認を行いました。今後は、R6 に旧葛生町域の現地踏査・確認を行い、Ｒ７に市域全体をカバーする遺跡地図を作成する計画です。刊行後の遺跡地図は、市ホームページ等でも閲覧できるようにしたいと考えています。　（文化財課）
【田中正造関係資料購入事業】 ・市民の目に触れるよう購入した資料を活用した企画展などをやってほしい。	貴重な資料が市民の目に触れるように、当面は「田中正造展示室」等の展示内容の入替等で対応してまいります。　（文化財課）
・「施策４　グローバル化に対応する教育の充実」について、『英検３級以上の英語力を身に付けている生徒の割合』が下がってきている。目標値を達成できるよう頑張ってほしい。	児童生徒の英語力を高めるために、その基盤となる教員の英語力や授業力を高める研修の充実を図っています。具体的には、小学校教員を対象とした短期集中型のオンライン英会話研修、佐野日大短期大学と連携した小校教員及び中学校の英語担当教員対象の授業力向上研修を実施しています。また、本年度、ファンガレイ市中学生交流事業を実施し、生徒の英語への興味関心を高めるとともに、英検の受験についても、引き続き推奨していきたいと考えています。　（学校教育課）
・多くの子どもたちが異文化交流に参加できるように、オンラインを活用した交流について検討してほしい。	田沼小（イラン）、天明小、栃本小、多田小（ニカラグア）では、現地の大使館の方や日本人学校の子どもたちとオンラインでの交流活動を実施しています。こうした取組を市内に紹介していきたいと考えています。また、今年度よりファンガレイ市中学生交流事業を通して、今後、ニュージーランドのファンガレイ男子・女子高校と本市の中学生とのオンライン交流の実施について検討していきたいと考えています。　（学校教育課）

（２）令和６年度点検・評価における委員意見

・博物館の学校利用はとてもよい。市内には美術館も複数あり、美術作品を鑑賞することも子どもの成長には良い影響があると思うので、積極的に活用してほしい。
・いじめ問題は難しい。適切な初期対応と予防的な取組ができるよう努めてほしい。